

第22回

日本心療内科学会総会・学術大会

The 22nd Annual Meeting of Japanese Society of Psychosomatic Internal Medicine

スポンサードセミナー

日時：2017年11月11日(土) 13:45～15:25

会場：城山観光ホテル A会場(エメラルドホール)

フレイルに対する人参養栄湯 ～臨床成績と作用機序～

座長

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 心身内科学分野
教授 乾 明夫先生



わが国は、世界に先駆けて超高齢社会に到達したが、一方で“平均寿命”と“健康寿命”の差は男性で約9年、女性で約12年といわれている。このような状況において、予防医学の立場から注目されているのがサルコペニアを基礎としたフレイル (frailty) であり、フレイルの予防・治療による健康寿命の延長は、わが国の医療において喫緊の課題である。

フレイルは漢方薬、特に補剤のよい適応である。多成分系を特徴とする漢方薬は多様な身体疾患や食欲不振・不安・抑うつ・認知など心身両面の異常を示すフレイルの治療において、その威力を発揮するものと期待される。

漢方薬の中でも“最強の補剤”と称される人参養栄湯は、古来より広く慢性消耗性疾患に臨床応用されており、フレイルに対する予防・治療効果も期待されている。そこでわれわれは、人参養栄湯のフレイルに対する可能性について大学間横断プロジェクトとして、2016年11月に『フレイル漢方薬理研究会』を発足し、現在、基礎・臨床の両面から検討を進めている。

本セミナーでは、人参養栄湯のフレイルに対する臨床成績と作用機序について、最新の知見を紹介し、ご参加の諸先生と討論したいと考えている。

共催：第22回日本心療内科学会総会・学術大会
クラシエ薬品株式会社